

令和2（2020）年度 卒業時アンケート調査結果の分析（食物栄養学科）

IR 副委員長 澤辺桃子

2021年3月14日に卒業した学生を対象としたアンケート調査の結果について、食物栄養学科（回収率100%）の内容に関して、以下の通りに分析した。

「本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思うか」について、5満点のうち成長を実感している学生（4～5点）は、70%であった。1点を回答した学生はいないものの、2点が2%であり、3点と回答したものと合わせて30%が明らかな成長を実感できていない厳しい結果となった。成長のスタートラインは、個々人で異なることから、ひとり一人の学生のそれぞれの成長を促すための方策を検討する必要がある。

「成長できた、と思うきっかけや経験」としては、実験・実習のレポートや技術向上、学外実習等が挙げられ、栄養士として必要な能力を身に付けたことに気づいた時に成長を実感できている。また、栄養士実力試験の試験結果も客観的な指標として有効であることがうかがえる。その他、学友会活動や課題解決型授業での発表等、人前で何らかの表現する機会も成長につながるということが分かった。授業内や授業外に様々な経験ができる機会をより多く提供していくことが必要である。

在学中の取組としては、「短大での勉強」に最も力を入れたと回答しており、次いで「資格取得」、「Wスクール」と続いている。学業を第一に考えた学生生活を送っていることを知ることができる。

本学の学びで身に付いた項目としては、「知識」、「技能」及び「コミュニケーション力」が挙げられ、実験・実習科目において学生同士の協力の機会が多いことが好影響を与えていると推察される。教育内容の満足度評価においても10点満点中7～8点の回答がもっとも多く、次いで10点が多い一方、3点との評価もあった。また、本学を勧めるか、の問いに対しては、5点満点で3点以上が88%と好意的な回答であった。満足度を高め、9割以上の卒業生が強く勧めたいと考える学校となるように、さらなる努力が必要である。

卒業後の進路については、5点満点で3点以上が92%であり、概ね希望に沿っていると考える。本学への入学に関する満足度は、5点満点で3点以上が94%であり、さらに高めるためには、教育内容と就職支援、成長実感が得られる機会の提供が求められる。

以上

2020（令和2）年度 卒業時アンケート調査結果の分析（保育学科）

保育学科 野呂 祐人

2021年3月14日に卒業した学生を対象に実施したアンケート調査の結果について、保育学科50名（回収率100%）の内容を以下の通り分析した。

設問1「本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が38%、「4点」が46%であり、「2点」「1点」はいなかった。8割以上の学生が自分自身の成長を感じていることがわかる。

設問2「成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください」について

自由記述で回答を求め、その内の5割以上の回答が「実習での経験」についてのものであった。次いで「知識を身に付けたこと」「ピアノの技術習得」など授業についての記述が多く、「実習」や「授業」が最も成長を実感できる経験だと言える。一方でキャンパスサポーターやサークルなど授業外での経験を記述した学生は少数であった。

設問3「在学中に力をいれて取り組んだ項目を選んでください」について

選択式で複数回答を求めた。結果は「短大の勉強」が最も多く、次いで「資格習得」と「アルバイト」が多かった。この結果から学業に力を入れている学生が多いことが伺える。一方で、サークル活動や学内行事への取り組みは少なく、その分アルバイトへの取り組みに時間を割く学生が多いと読み取ることができる。

設問4「本学での授業や活動を通して身に付いたと考える項目を選んでください」について

ディプロマポリシーの7項目とその他加えた8項目から、選択式で複数回答を求めた。その結果、「知識」、次いで「技能」が多く、8割以上の学生が身に付いたと回答している。「表現力」「コミュニケーション力」「思考力」「判断力」は5～6割の回答であった。「社会人力」の回答については3割程度と少し低い結果であった。全項目にある程度の回答が見られ、講義、実習、演習といった様々な形式の授業を取り入れている効果がみられる。しかし、その中では「知識」「技術」に偏りがあり、それ以外の項目を伸ばすことが課題といえる。

設問5「本学の教育内容にどの程度満足していますか」および、設問6「本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください」について

本学の教育内容について10点満点で評価を求め、評価できる点および評価できない点を記述してもらった。7点以上が86%を占め、その中では7～8点が最も多く、次いで9点が多かった。6点以下は全体の14%で、3点以下はいなかった。

評価できる点では「実習前の指導」「ピアノの設備」「専門分野に特化した教育内容」が挙げられた。また、「学校に通いやすい空気」「教員に相談できる」など環境面での評価もあった。評価できない点

については「保育の教材作りの知識が得られない」「手遊びや絵本での実践的な知識が得られない」といった記述があり、手遊びや教材づくりの実践的な演習を増やすことが課題として挙げられる。また「教員同士の協力・共通理解の不足」を感じたという記述もいくつかあり、具体的に何を指しているかは不明であるため、個別の授業評価も含めて慎重に検討していく必要がある。

設問7「もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が40%、「4点」が30%であり、7割の学生が勧めると回答した。

設問8「卒業後の進路は希望に沿ったものですか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が52%、「4点」が32%であり、8割以上の学生が希望通りの進路だと感じている。「2点」が4%と少なく、「1点」はいない良好な結果となった。引き続きSL教員を中心とした、学生個人の要望を聞き取ることができる就職支援の体制を整えていきたい。

設問9「函館短期大学に入学してよかったと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が52%、「4点」が32%であり、「1~2点」の回答はなかった。8割以上の学生が入学してよかったと感じていることがわかる。

全体を通して

アンケート全体を通し、「成長できた」「入学してよかった」と感じている学生が8割を超えていて、概ねの学生は2年間の学校生活を満足していると感じている。しかし、点数が5点中3点など中間の評価をする学生が一定数いる。各項目の向上のため、保育学科の「教育内容」についていくつか考察をしたい。

設問2や設問4の回答を照合すると、授業や実習を通じて「知識」「技術」を学生に伝達させることについてはかなり達成できていると分析できる。一方で、「表現力」「思考力」「判断力」といった力を身に付いたと感じる学生は6割程度であり、「学生自身で判断し考える経験」「自分の考察を他者に伝える経験」が不足している可能性がある。また、「コミュニケーション」「社会人力」といった部分の達成度が低いことについては、設問2で「授業」や「実習」以外の回答が少ないことから、実習や通常授業のグループワーク以外で、「学外の人と関わる経験」や「学生自身でプロジェクトを企画運営する経験」が不足していると推測できる。これらを踏まえ、「知識」「技術」の伝達以外の部分で、学生主体で企画をしていく経験や、あるトピックについて考察し文章化する経験、発表やプレゼンテーションをする機会などを充実させていくことが教育内容の改善につながるのではないだろうか。

2020年度 卒業時アンケート調査結果

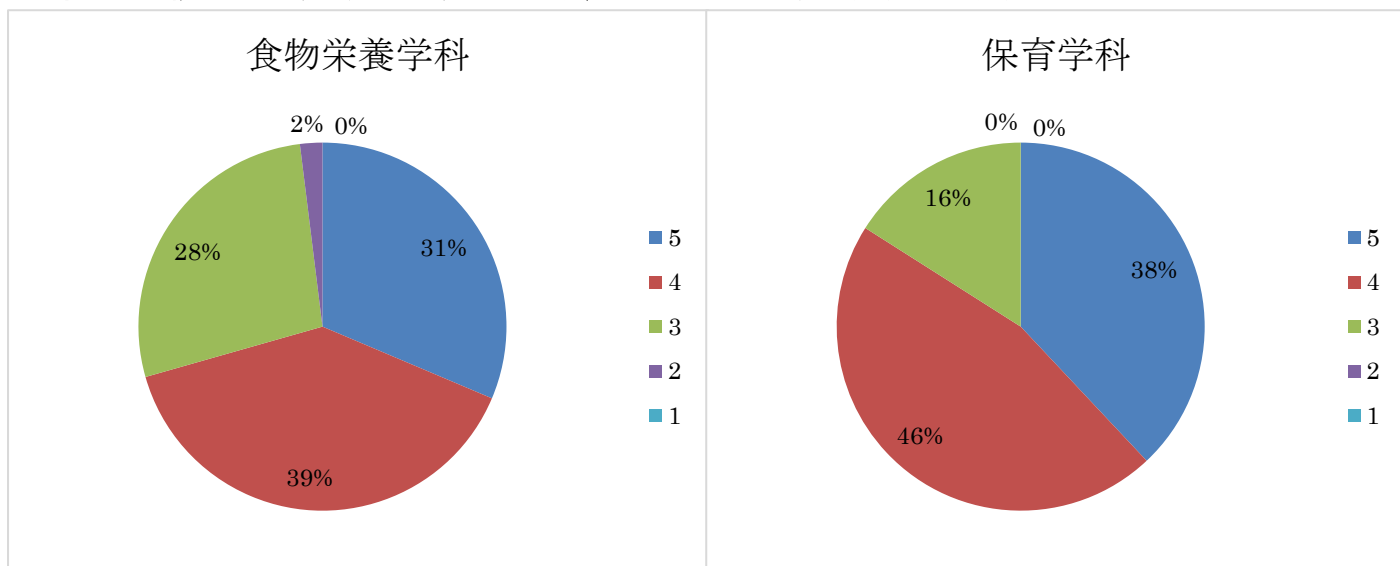
2021年3月14日に卒業した学生を対象として行ったアンケート調査の結果について、回収率と各設問について以下に記す。

I. 回収率

合計 100.0% (101/101)、食物栄養学科 100.0% (51/51)、保育学科 100% (50/50)

II. 各設問回答結果

1. 本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか。(5点満点)

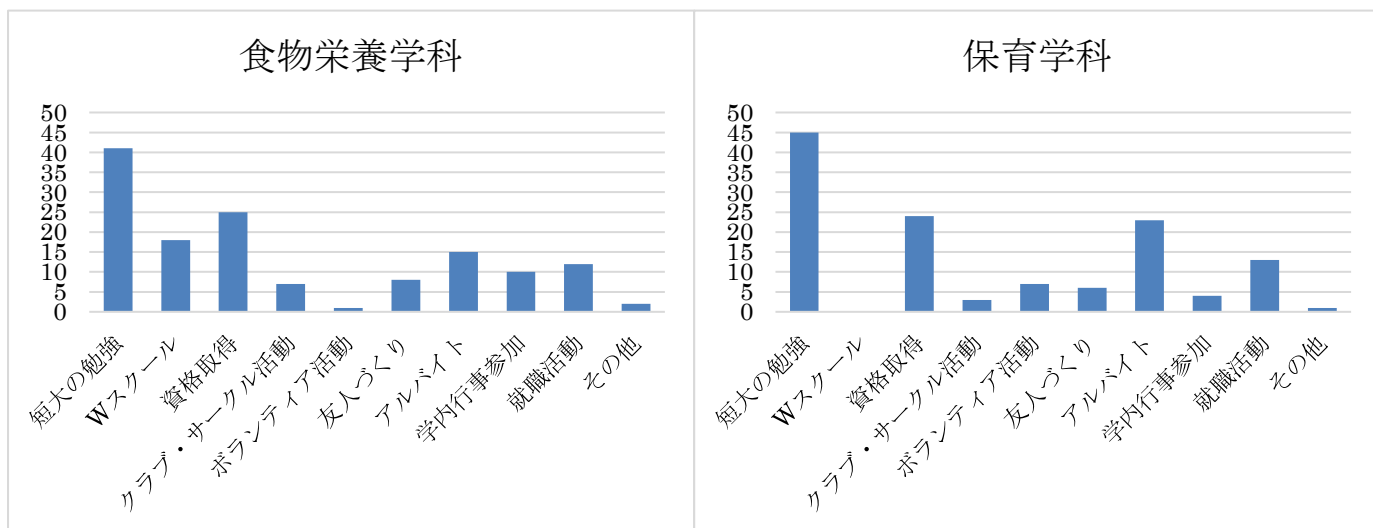


2. 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。(記述)

後述

3. 在学中に力を入れて取り組んだ項目を選んでください。(複数回答可、その他は具体的に記載)

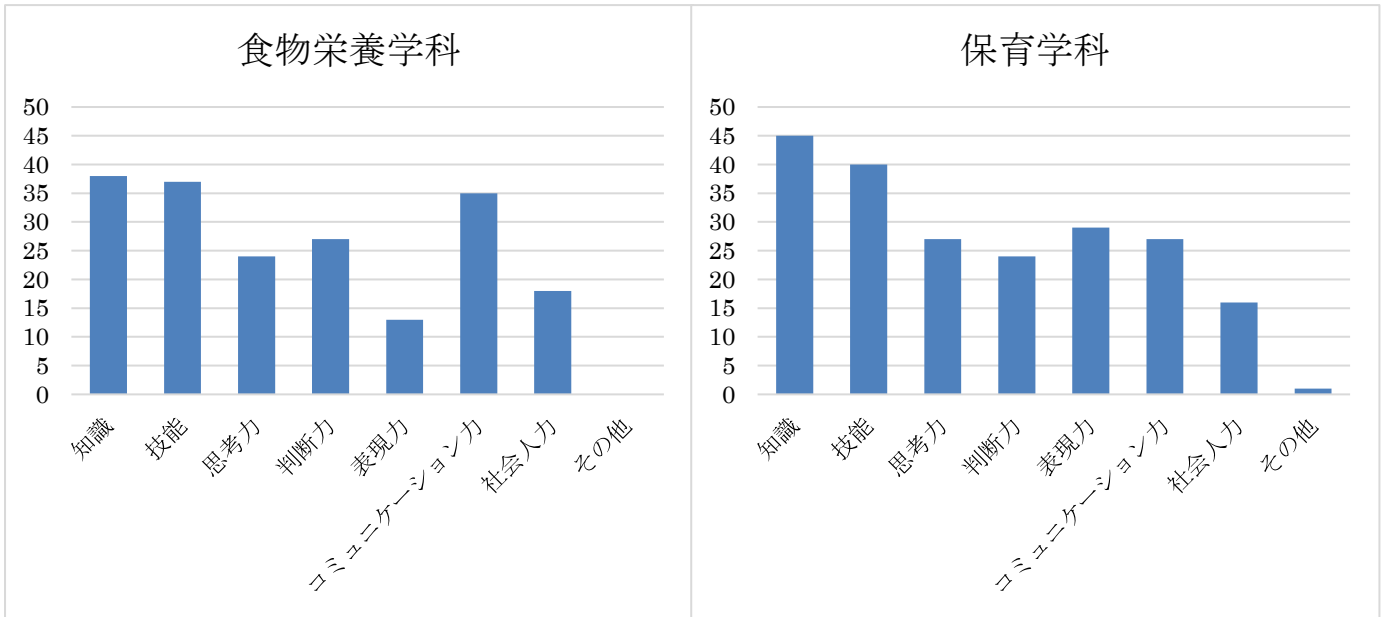
- 短大の勉強
 Wスクール
 資格取得
 クラブ・サークル活動
 ボランティア活動
友人づくり
 アルバイト
 学内行事参加
 就職活動
 その他 ()



その他記述 食物栄養学科：課外活動、特になし、保育学科：函館アカデミックリンク

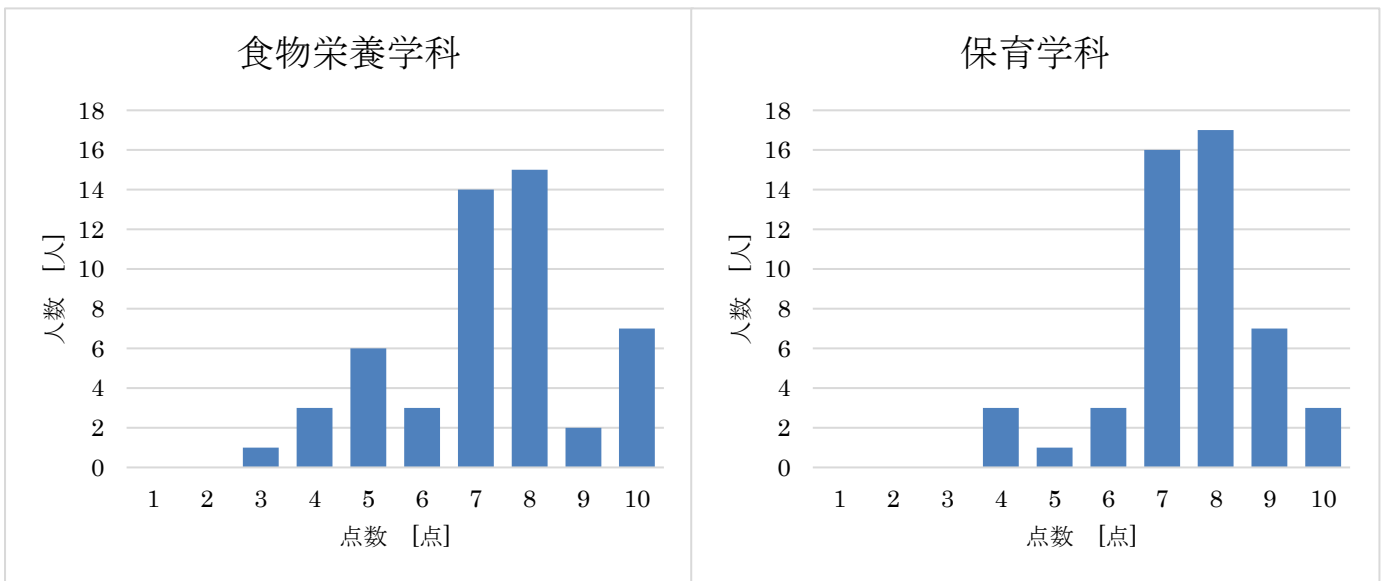
4. 本学での授業や活動を通して身に付いたと考える項目を選んでください。(複数回答可)

- 知識
 技能
 思考力
 判断力
 表現力
 コミュニケーション力
 社会人力
 その他(具体的に)



その他記述 保育学科：適応力

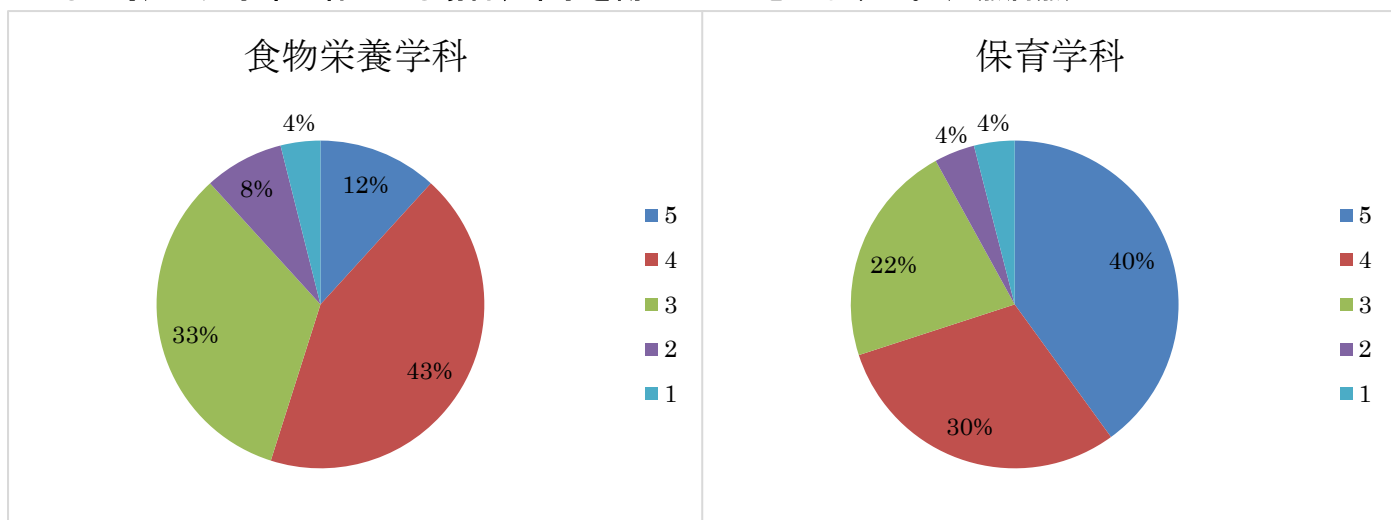
5. 本学の教育内容にどの程度満足していますか。(10点満点)



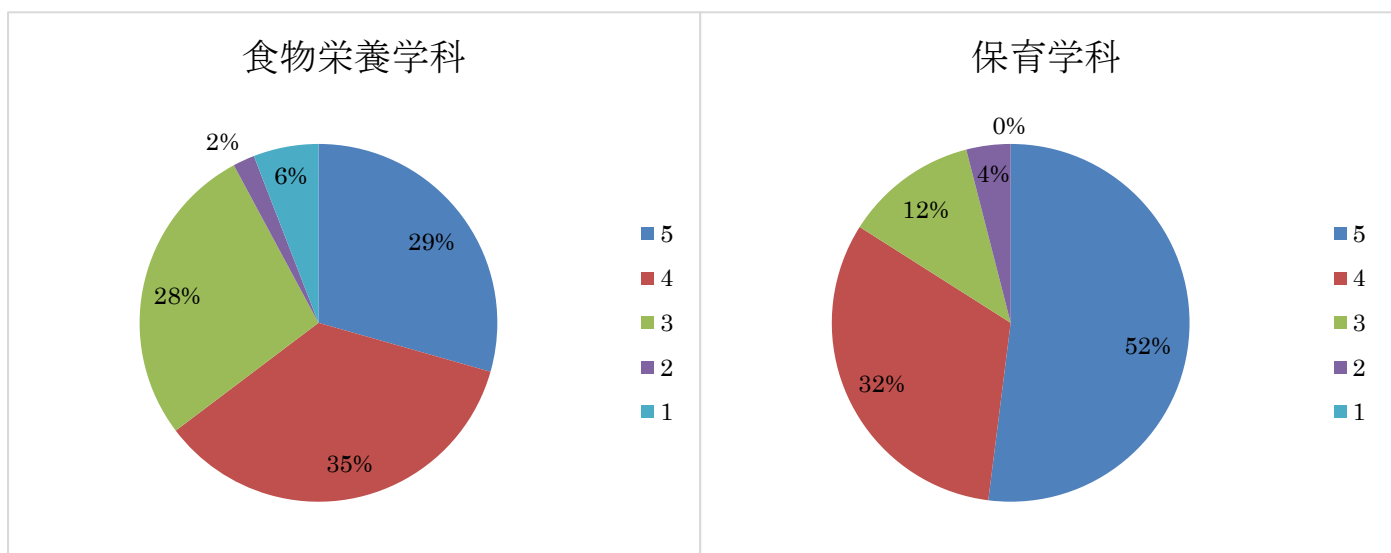
6. 本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください。

後述

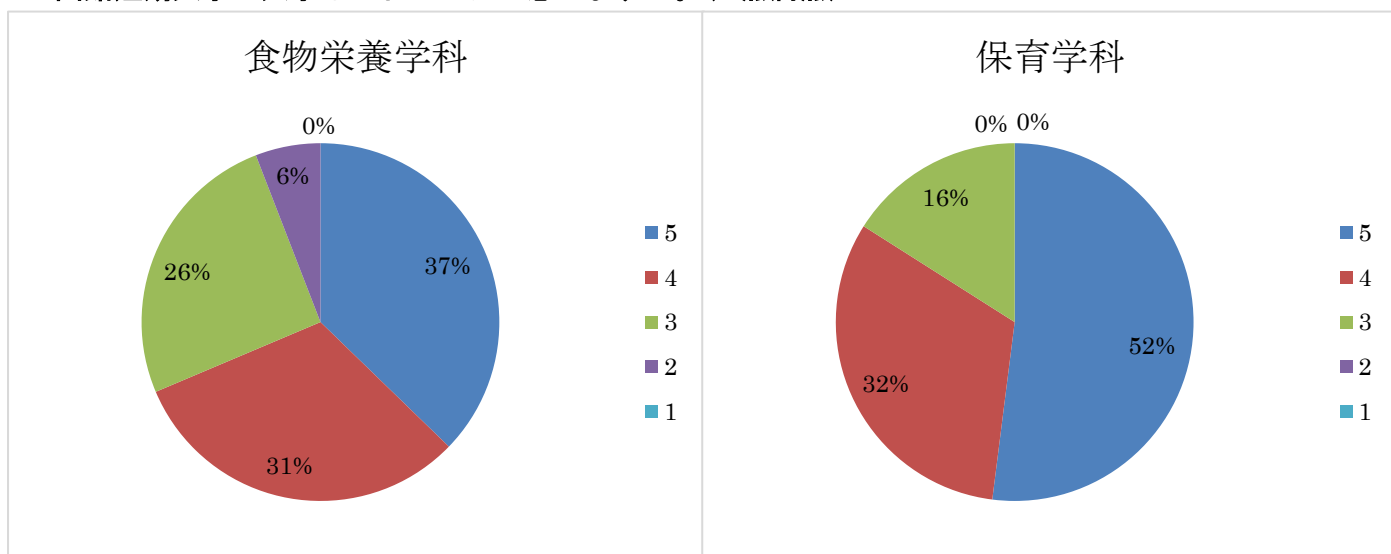
7. もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか。(5点満点)



8. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。(5点満点)



9. 函館短期大学に入学してよかったと思いますか。(5点満点)



2. 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。(記述)

食物栄養学科

実習
いろいろ学んだ
ダブルスクール
一人暮らしの生活との両立
栄養士の資格がとれたから
獲得したいと考えていた資格を全て獲得できたため
調理実習
教育実習
献立を立てる時に栄養面で足りない所を補う方法が思いついた時
自信を持ち行動できるようになった
積極的に実習やグループ活動に取り組みみんなの中心になって進めていくことができたと感じたからです。
人間関係
調理実習
悩んだ時の解決策がすぐに見つかった時
八幡先生にお世話になりこれからの仕事面、勉強等でとても成長することができました。経験した場所は永楽荘です。
教育実習は本当にいい経験になりました
実習を行ったり、人前に出て発表する機会や資料等を作製する機会があったため
実習経験を積めたこと
終わった後、練習したこと
調理実習
SLの発表、学友会活動
栄養士認定試験学年1位
学科長のレポート提出
教育実習
効率的に動く事です。大量調理の際に時短のために調理工程を無駄のないように考えた事です
校外学習
校外実習で、実際の栄養士の仕事を学べたこと。
実習
実習とレポート
受け身の实習や授業だけでなく、自ら考えて学ぶことが多かったから
集団給食の調理の時に周りとは協力して作った時です。
調理実習での協力性、実験のレポートで文章構成力を磨けた
特別研究
学友会
積極的にボランティア活動に参加し勉強面も学生生活で私なりに1番勉強しました。
様々な実習
集団調理

実習や部活動など
2年生の時の校外実習
栄養教諭の実習
教育実習
卒業へ向けて勉学に取り組むことができた。
調理技術
調理実習
実習

保育学科

キャンパスサポーター 就職活動
サークル
向上心が高まった
実習
実習
実習
実習で改めて自分の課題を見つからことができた
実習や実習に向けての準備
授業での発言を積極的に行ったり、実習での経験で成長できたなど思いました。
勉強で新たな事が沢山学べた
保育に関する知識を学び、実習に行ったりなどの経験を通して子どもはもちろん、人と関わる事がすごく楽しくなりました。
教育実習、保育実習での経験
4回の実習で、たくさんの気づきや学びを得ることが出来たと共に、学内で実践保育等を行い、仲間や先生方からのアドバイスを参考に自分に足りないものを見つけることが出来た。
実習
実習
実習を通して現場でしか学ぶことができない数々の経験を得ることができた。
授業や実習を通して保育の知識を得ることができた
保育園実習、幼稚園実習
ピアノが全く弾けなかったのに両手で弾けるようになりました。
教育実習で褒められたこと
実習
実習
実習
実習での経験
実習で色々な経験ができた。
実習や研修で子どもにうまく言葉掛けをできた。
実習や実際に保育活動をしたこと
ピアノの弾き歌いができるようになった。
実習を通して子供との関わり方、援助の仕方を学び、2年生の実習で実践するこのことができた。

社会人になるにあたっての態度など
就職できた
色々な人とコミュニケーションをとる場面が多かった
学んだことが実習などで活かした時
入学時に比べ、専門性の高い知識や技術を学ぶことが出来たと実感する場面を多く感じるため。
実習などで様々なことを経験したため
幼稚園実習を行って、自ら行動したりする力が身についた
グループワークを通して人との関わりや実習を通して、座学で学ばなかった事を学ぶことができた。
実習活動・授業内のグループ活動
保育実習や講義を通して保育に関する専門性知識や地域課題解決型学習で関連機関の様々なことを知る事が出来た。
前職を踏まえた上での保育の専門的な学習を通し新たな発見をすることが出来ました。
自分の考え方が変わった
グループワーク
知識が増えたり、技術が向上した
実習を行うことで園の仕組みや先生方の動き方などを学び自分の力にすることが出来た
知識を取り入れられた

5. 本学の教育内容にどの程度満足していますか。(10点満点)

6. 本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください。

食物栄養学科

5.点数	6.記述
9	ダブルスクールが良くて進学した
8	先生達が親身になってくれる
8	先生方の経験談が聞ける
7	W スクールの調理施設の衛生面。 タオルの使用が気になります
7	実習が多いため、実践的なことをたくさん身につけることができる。
7	生徒と先生間のコミュニケーションがしっかりしている
7	色々な資格が取れること
7	座学や実習でも、わかりやすく説明したこと
7	授業の質
7	先生方が親身に勉強を教えてくださいました。
5	実習の内容が講師によってバラつきがあり混乱する
4	評価できる集団調理。 できないのは、自分の話ばかりの授業 不足は特に無し

保育学科

5.点数	6.記述
10	良かった
9	専門分野に特化した教育内容が良かったです。
9	ピアノの授業や設備がしっかりしているところが良いと思います。
8	ダンスやリズム運動
8	教育実習や保育実習の授業では事前に実習のことについて学んだり事後に実習を振り返ることが出来て良かったです。
8	たまに、課題についての不満が少しありました
8	学校の通いやすい空気感が良いです
8	実習の前後でそれぞれ指導の授業があるのはとてもいいと思います。
8	先生方が優しく接してくださったり、相談に乗ってくれる先生が多い。
7	保育士として働く時の実践的なことをもっと知りたかったです。手遊びや絵本の読み聞かせなどを授業でもっと取り入れて欲しいと思いました。
7	保育の教材作りについての知識が少ない
7	教員同士の共通理解不足
7	先生方の協力
7	言葉や人間関係はとても分かりやすく、子どもや保護者等への関わり方を正しく知る事が出来た事がとても良かったです。 一年時に受講した教職概論は何を学べたのが分かりませんでした。
4	教職員同士の連携やコミュニケーション不足と感ずることが多々ありました。福祉系の職場経験のある方がいればいいと思います。
4	リトミック